



平成 30 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社カーチスホールディングス
(コード番号 7602 東証第 2 部)
代表者名 取締役兼代表執行役社長 西牟田 泰央
問合せ先 取締役兼執行役企画管理本部長 大庭 寿一
(TEL 03-3239-3185)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 7 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

平成 30 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 30 年 2 月 7 日発表)	百万円 24,500	百万円 80	百万円 100	百万円 10	円 銭 0.50
今回修正 (B)	24,400	△84	△68	△150	△7.76
増減額 (B-A)	△100	△164	△168	△160	
増減率 (%)	△0.4%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	31,587	△141	△105	△342	△15.80

2. 修正の理由

当期は利益率の高い中古車販売に特化した営業施策へ転換を図り、併せて生産性と効率性の向上を目指し、第 1 四半期から不採算店のスクラップアンドビルドなどの業務改革を推し進めてきたことにより一時的な店舗統合費用などが発生しましたが、第 2 四半期より徐々に効果が表れ、第 4 四半期の利益面では、大幅な期間黒字計上となる見込みです。しかしながら、期初からの売上の減少に加えて、オートオークション相場が低調であったことから、各利益については、第 3 四半期までの赤字を一掃するまでには至らず、また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる一部の店舗については、当期末において特別損失として計上することになり、前回発表した業績予想を下回る見込みとなりました。

今後も大型販売店の出店戦略やインターネット販売などの販売力強化に努めていきます。

また、大手韓国企業とのグローバルインターネットプラットフォームの構築で、全世界へ向けた輸出販売の拡大とともに国内においても B to C 販売を一層強化してまいります。

(注) 上記に記載いたしました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、既知、未知のリスクや不確定要素の要因により、実際の業績は上記予想と異なる可能性があります。

以上